

令和6年能登半島地震 調査・支援活動報告会



令和6年能登半島地震金沢大学合同調査チーム「KUD」^{※1} および、
こころのケアを目的とした専門チーム「KEYPAT」^{※2} は、下記のとおり今般の地震に関する現在までの調査と支援活動について、
報告会を行います。

-PROGRAM-

総合司会：山岸 雅子（金沢大学理事・副学長）

開会挨拶 14:00

中村 慎一（金沢大学理事・副学長・KUDチーム総括）

調査・支援活動報告① 司会：堀 修（医薬保健研究域長） 14:05

報告1 附属病院の医療支援・災害対応

蒲田 敏文（副学長・附属病院長）

報告2 保健学系における二次避難所の支援報告

表 志津子 教授（医薬保健研究域保健学系）

報告3 能登半島地震における全学メンタルサポートチーム KEYPAT (Kanazawa Educational Yell Psychological Assistance Team) の 立ち上げ

吉川 弘明 教授（保健管理センター）

— 休憩 —

調査・支援活動報告② 司会：松本 宏一（理工研究域長） 14:50

報告4 AIと空中写真を用いた被災建物の損傷程度の自動判定システム の開発と避難所の開設状況の分析

藤生 慎 准教授（融合研究域融合科学系）

森崎 裕磨 助教（融合研究域融合科学系）

報告5 令和6年能登半島地震の発生メカニズム

平松 良浩 教授（理工研究域地球社会基盤学系）

報告6 能登半島地震：九十九湾一珠洲沿岸における海底堆積物・生物 影響調査速報

ジェンキンズ ロバート 准教授（理工研究域地球社会基盤学系）

— 休憩 —

調査・支援活動報告③ 司会：松本 宏一（理工研究域長） 15:25

報告7 地盤被害調査について

小林 俊一 准教授（理工研究域地球社会基盤学系）

報告8 建物被害調査について

村田 晶 助教（理工研究域地球社会基盤学系）

報告9 津波の概要と被害調査について

榎田 真也 教授（理工研究域地球社会基盤学系）

閉会挨拶 15:55

大竹 茂樹（金沢大学理事・副学長・融合研究域長）

お問合せ

令和6年能登半島地震金沢大学合同調査
チーム「KUD」事務局

e-mail: kud@adm.kanazawa-u.ac.jp

主催

令和6年能登半島地震金沢大学合同調査チーム「KUD」、
こころのケアを目的とした専門チーム「KEYPAT」

※1 「KUD」(Kanazawa University against Disaster)

<https://www.kanazawa-u.ac.jp/research/centers/kud>

※2 「KEYPAT」(Kanazawa Educational Yell Psychological Assistance Team)

https://hsc.w3.kanazawa-u.ac.jp/keypat_message/

令和6年
2月3日(土)
14:00~16:00

■対象 どなたでも

■定員 250名

■参加費 無料

■会場 自然科学大講義棟
(金沢大学角間キャンパス)

※会場へのアクセスは別紙をご覧ください。

■お申込み

【申込フォーム】

下記のQRコードからアクセスしてください



申込締切：令和6年2月1日(木)17時

※締切前でも定員に達した場合は受付を終了します。

※人数把握のため、個人でお申込みください。

